

福祉の店・福祉喫茶

ご存じですか？



南連絡所の隣にある、福祉の店。川越駅を利用する際は、ぜひお立ち寄りください



西図書館入り口の向かいにある、福祉喫茶ちゃちゃこ。日替わりランチが人気です



高階市民センターにある、福祉喫茶ひととき。販売コーナーが充実、料理の材料と同じ野菜もあります

福祉の店・福祉喫茶は、障害のある方の社会参加や就労支援を目的に、市が設置した施設です。
この記事では店舗などの概要や、運営に携わっている皆さんについてご紹介します。
問い合わせ：障害者福祉課・TEL224-5785

福祉の店

平成二年、アトレといっしょに、開店した福祉の店。約二十の障害者施設で作られた製品が並んでいます。置いてあるのは、機織りで作られた財布や筆入れ、染め物のハンカチや、足ふきマットなどの布製品、おもちゃなどの木工製品、ビーズのアクセサリー



クリスマスにちなんだ商品も並んでいます

などです。この時期は、リースなどのクリスマス関連商品があります。

「せんべいや、ビーズで作った携帯電話のストラップやネックレスがよく売れています」と話す、福祉の店を運営する、デイケアいもの子の管理者・湯浅俊二さん。

南連絡所に隣接しているため、同連絡所に用事で来た際



木工製品のおもちゃ。木のぬくもりが感じられます



ビーズで作られた、携帯電話のストラップ

に、この店の存在を知る方が多いようです。特定の商品が気に入り、何度も訪れる方も多いそうです。

商品がなくなると、各施設に入荷手配の連絡をしています。「すぐに商品が入ればいいのですが、手作りの品が多いため、希望に沿えない場合があります」と湯浅さん。また、「特に陶器は、色や形な



これからせんべいを焼くところ。重ならないように調整しています



陶器もさまざまな形の商品が置いてあります

どお客さんの好みに合わせた商品を作ってもらおうようにしています」と、より売れるように店頭に並べる努力をしています。

福祉の店のあるアトレは、川越駅東口の目の前にあります。「人通りの多い所にあるので、多くの方に関心を持ってもらえるよう、商品の並べ方や、季節の品をそろえるなど、くふうをし、魅力のある店にしていきたいですね」と湯浅さんから、今後の目標を伺いました。

人気商品のせんべいは、第2いもの子作業所で作られています。製造、包装、営業・宣伝の三つの部門に分けて作業が行われています。

「作業場の入り口にエアシヤワーを設置し、帽子やマスクを着用するなど、衛生管理を徹底して、作業をしています」とせんべい作りで気を付けていることを、同作業所施設長の金澤昌敏さんから伺いました。

福祉喫茶ちやちやこ

福祉喫茶ちやちやこは、平



福祉の店

わきたまち 脇田町

(アトレ1階南連絡所隣)

営業時間…午前10時～午後5時 (南連絡所休業日は休業)

